

2025 年 4 月 1 日

鹿児島大学病院・名戸ヶ谷病院 で

脳卒中および膠芽腫のリハビリテーション治療を受けた患者さんへ

生命科学・医学系研究に関する情報

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

脳卒中および膠芽腫により上肢麻痺単独あるいは高次脳機能障害を合併した患者におけるリハビリテーションアウトカムの推移（観察研究）

【研究の目的】

脳卒中および膠芽腫で当院入院中に、リハビリテーションを実施した上肢麻痺や高次脳機能障害を有した患者さんを対象に、リハビリテーション開始時、経過中、退院（転院）時における上肢運動機能評価、感覚評価、物品操作能力、高次脳機能評価の結果をカルテから調査するとともに、リハビリテーション内容等も併せて検討いたします。

上肢麻痺に対する治療は、リハビリテーションの主要な目的であり注目されています。しかしながら、上肢麻痺に合併することが多い高次脳機能障害を呈した例を含めた検討はほとんどなされていません。上肢麻痺に対するより有効なリハビリテーション治療を行うにあたって、高次脳機能障害を合併した患者

さんのリハビリテーションアウトカムの推移や治療内容を検討することができれば、多くの脳卒中および膠芽腫の後遺症に悩む患者さんの治療に役立つと考えられます。

【研究の方法】

観察研究：本研究では上肢麻痺単独群と高次脳機能障害合併群のデータを収集し、群間比較や郡内での関連について検討します。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2029年12月31日

【対象となる患者さん】

2022年1月1日から2026年12月31日までに、鹿児島大学病院リハビリテーション科および名戸ヶ谷病院リハビリテーション科で上肢麻痺や高次脳機能障害によりリハビリテーションを受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

対象となる患者さんの基本属性に加えてリハビリテーションアウトカム（上肢運動機能評価、感覚評価、物品操作能力、高次脳機能評価、日常生活動作など）や治療内容を利用します。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学分野

下堂 蘭恵（研究責任者）、衛藤 誠二、大濱 倫太郎、河村 健太郎

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野

花谷 亮典

鹿児島大学病院リハビリテーション部

豊栄 峻、城之下 唯子、夏目 恵介、新留 誠一

名戸ヶ谷病院リハビリテーション科

松原貴哉

名戸ヶ谷病院脳神経外科

井上靖章

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 田川 義晃

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないよう加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学分野の研究費（使途特定寄附金）と公的研究費（日本学術振興会科学研究費）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院リハビリテーション部

作業療法士・豊栄峻

099 - 275-5704